

# 神屋地区計画区域内における建築物等 に関する基準のチェックリスト

申請者 住所

氏名

電話

印

## 〔留意事項〕

1. 下記の内容を図面等により確認しながら捺印欄に捺印してください。
2. 審査欄には、記入・捺印しないでください。
3. 不明な点については、昭和町役場都市整備課に照会してください。

| No. | 項 目            | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 捺 印 | 審査欄 |
|-----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 1   | 区 域            | 地区計画区域内のどの計画地区に含まれているか。<br>( Aゾーン ・ Bゾーン )<br>※該当する地区を○で囲むこと。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |     |     |
| 2   | 敷 地 の<br>規 模 等 | 1 区画における敷地面積の最低限度 (200 ㎡以上) に適合しているか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |
| 3   | 土 地 の<br>高 さ   | 敷地の地盤の高さは、土地区画整理事業の認可時における造成高さとし、変更しないこと。ただし、庭の修景及び出入りのための軽微な変更については、この限りでない。                                                                                                                                                                                                                                                                             |     |     |
| 4   | 緑化の推進          | 敷地内においては、下記に掲げるとおり緑化を図るものとする。<br>1 緑化率<br>(イ) Aゾーンにおいては、敷地面積の20%以上とする。<br>(ロ) Bゾーンにおいては、敷地面積の10%以上とする。<br>2 植栽の位置<br>(イ) 景観上特に必要と認められるところ(建物の外壁、駐車場、ごみ置場等)に、積極的に適宜植栽する。<br>(ロ) Aゾーンにおいては、高木(3m以上)を敷地の周囲に5m間隔で列状に植栽する。<br>3 シンボルツリー<br>敷地内の道路側には、地区のシンボルツリーとして「しらかし」の木を1本以上植えるものとする。<br>4 植栽の管理等<br>敷地内の緑化に努めるとともに、高木等の高さ及び形状については、周囲に迷惑を及ぼさないよう十分に手入れを行う。 |     |     |

| No. | 項 目        | 内 容                                                                                                                                                           | 捺 印 | 審査欄 |
|-----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 5   | かき、又はさく    | 境界壁を設ける場合は、ブロック塀を禁止し、2 m以下の潤いのある生け垣かフェンスにする。ただし、コンクリートブロック等を設置する場合においては、基礎を含め高さ30 cmを限度とする。また、道路境界線から20 cm以上離して設置する。                                          |     |     |
| 6   | 建築物等の用途    | <p>1 次の各号に掲げる建築物以外の建築物は、建築することができる。</p> <p>〔工場・倉庫・モーター・パチンコ・マージャン屋・寄宿舍・下宿・射的場〕</p> <p>2 Bゾーンについては、建物1、2階部分の用途は、物販、飲食、サービス店、業務型店に限って建築することができる。(経済産業省業務分類)</p> |     |     |
| 7   | 壁面の位置      | 外壁またはこれに代わる柱の面から道路境界までの距離は、1.5 m以上、また隣地境界線までの距離は、1.0 m以上、かつ、ひさしから0.5 m以上とする                                                                                   |     |     |
| 8   | 建築物の高さ     | <p>建築物の高さは、下記に掲げるとおりとする。</p> <p>(イ) Aゾーンにおいては、12 m以下とする。</p> <p>(ロ) Bゾーンにおいては、20 m以下とする。</p>                                                                  |     |     |
| 9   | 建築物の意匠     | 建築物の色彩は、外壁にあつては白、茶または緑を基調とした落ち着いたものとする。                                                                                                                       |     |     |
| 10  | 自動販売機      | 自動販売機は、Bゾーンには設置しない。ただし、区域内の店舗に併設するもので、環境が損なわれないものとして、町が認めたものにあつては、この限りでない。                                                                                    |     |     |
| 11  | 農地に対する配慮   | 建物、かき又はさく、庭木等の設置にあつては、隣接する農地が、日照、通風等の農業生産上の条件を損なうことのないよう配慮する。                                                                                                 |     |     |
| 12  | 路上駐車に対する配慮 | <p>路上駐車を防ぐため、敷地内には、下記に掲げるとおり、駐車スペースを確保する。</p> <p>(イ) Aゾーンの場合は、敷地面積の15%以上の駐車スペースを確保する。</p> <p>(ロ) Bゾーンの場合は、敷地面積の30%以上の駐車スペースを確保する</p>                          |     |     |
| 13  | 歩車道の分離     | Bゾーンにおいては、公道から建物入口まで、歩車道の分離計画を明確にすること。                                                                                                                        |     |     |

※AゾーンとBゾーンの説明

- 1 Aゾーンとは、商業と住宅が調和し、均衡ある優良な街並み形成をはかる区域である。(別名：商住区域)
- 2 Bゾーンとは、商業の発展のために積極的に商業活動のための利便性を考慮し、優良な街並み形成を図る区域である。(別名：商業区域)